

仕 様 書

1. 目 的

この仕様書は、発注者 東金市外三市町清掃組合（以下「発注者」という。）の一般廃棄物処理事業に伴い発生する「不燃残渣」を、受注者が発注者の管理する一般廃棄物最終処分場まで衛生的かつ効率的に運搬することに関し仕様を定めることを目的とする。

2. 業 務 名 不燃残渣最終処分場運搬業務委託

3. 履 行 期 間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

4. 業 務 内 容

（1）運搬対象物

不燃残渣（ビン・ガラスを分別する際発生する不燃物）

（2）発生場所、運搬先及び予定数量

発生場所、運搬先及び予定数量は、下表のとおりとする。

ただし、施設稼働状況等により、不燃残渣の数量は増減する場合がある。

品 名		運搬場所	予定数量
不燃残渣	発生場所	ア（株）中屋総業カレットリサイクルセンター （長生郡白子町北高根 2 7 2 5 番地 1） イ（有）千葉容器選別場 （山武郡九十九里町小関 1 1 2 3 番地） ウ 東金市外三市町環境クリーンセンター （東金市三ヶ尻 3 4 0 番地）	約 841 t
	運 搬 先	グリーンオアシス大網 （大網白里市小西 6 4 1 番地）	

※ 運搬経路については別添図を参照すること。

（3）運搬日

運搬日は発注者の指定する日とする。

なお、運搬日については、受注者が、（株）中屋総業及び（有）千葉容器と調整のうえ、事前に発注者に承認を得ることとする。

（4）搬入時間

受注者が搬入できる時間は、月曜日から金曜日（祝日を除く）の午前 9 時から午後 5 時までの間とする。ただし、これ以外の場合は発注者の指示による。

5. 運搬及び計量

- (1) 受注者は、発注者の指示した計量機で計量しなければならない。
- (2) 受注者は、発注者の指示した運搬経路を通行しなければならない。ただし、何らかの理由で通行できない場合を除く。この場合、必ず発注者に連絡をしなければならない。

6. 提出書類

- (1) 受注者は、着手にあたり次の書類を発注者に提出し、発注者の確認を受けなければならない。また、変更が生じた場合は、速やかに届出ること。
 - ①着手届
 - ②主任技術者届
 - ③業務処理計画
 - ④車両使用届出書
 - ⑤届出車両の従事者名簿
 - ⑥届出車両の自動車検査証の写し
 - ⑦届出車両の任意保険証券の写し
 - ⑧その他発注者が必要と認めた書類

7. 使用車両

- (1) 使用する車両は原則として9,000kgを積載でき、ショベルロードで積み込み可能なダンプ車両とする。ただし、車両は、グリーンオアシス大綱で使用している長さ6.5メートル、幅2.7メートル、高さ4メートル以下の計量台本体で計測可能なものとする。
- (2) 受注者が使用する車両は、緑ナンバー（営業ナンバー）とする。ただし、申請中の場合はその申請書のコピーを提出しなければならない。また、取得後は速やかに任意保険証券のコピーを提出するものとする。
- (3) 使用車両は、事前に車両使用届出書を提出した車両とし、「東金市外三市町環境クリーンセンター 委託車」と必ず明確に表示しなければならない。

8. 業務に関する注意事項

- (1) 受注者は、「道路交通法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法137号）」、「千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例（平成14年千葉県条例第2号）」及びその他関係法令を遵守しなければならない。
- (2) 受注者は、一般廃棄物（不燃残渣）の運搬にあたっては、積載物の飛散防止に努め、その運搬に十分注意しなければならない。万一、飛散等が生じた場合は、直ちに積載物を回収するとともに飛散した箇所の清掃を行い、原状の復旧に努めるものとする。また、運搬に際しては、シート又はネット等で積載物を覆うなどの飛散防

止対策を図らなければならない。

- (3) 受注者は、搬入にあたり、常に車両を清潔に保ち、運行する道路周辺の住民に不快感を与えてはならない。

9. 報 告

- (1) 受注者は、運搬作業日報を翌日（土日祝日の場合は直後の平日）に発注者へ提出しなければならない。
- (2) 受注者は、運搬作業月報を翌月の10日（土日祝日の場合は直後の平日）までに発注者に提出しなければならない。
- (3) 受注者は、契約期間が満了したときは発注者に完了届を提出しなければならない。

10. 事 故 報 告

受注者は、業務の履行にあたり事故が生じた場合、直ちに発注者及び関係機関等に通報・報告するとともに、3日以内に書面による報告書を発注者に提出しなければならない。

11. 車両故障等

運搬車両の故障、事故及びその他の不測の事態が生じた場合は、速やかに発注者に連絡をすること。

また、搬出予定に支障が生じることがないように代替車両を用意すること。その際の代替車両にかかる経費は受注者が負担すること。

12. 車両管理

受注者は、車両の故障等により運搬業務に支障を及ぼさないよう、法定点検、日常点検、又は必要な点検を実施し、車両を安全に稼働させなくてはならない。

13. 教育・訓練

受注者は従業員に対し、技術向上を図り、業務訓練及び安全衛生教育を行い、事故発生の防止に努め、従業員の過失に起因する事故などに対し一切の責任を負わなければならない。

14. 秘密の厳守

受注者は、業務の履行上知り得た秘密事項は、他に漏らしてはならない。

15. そ の 他

この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、発注者と受注者が別途協議のうえ解決するものとする。